防空献金の

にて来京

和田

滿日程

長岡廳長等 海州各機關助

食物の

の者は九二日飯を喰いるのだ

滿州校長會

駐支陸、海、外首腦部會議

ないないないであった。 併し皇のであった。 併し皇の

日午前十時有吉大使、岡村少島ので越々この日から上海會へあので越々この日から上海會へあり先づ同一時十十八日皇朝上海に来着するのではなったり先づ同一時十八日皇朝道と同村少し

日富地出帆の便い 対少將は上海會難 は上海會難

一日中野の在満日程左の加し 本十九日午前十時満洲嶼皇帝 空下に拜謁、午後嗣東東司 空下に拜謁、午後嗣東東司 全世日帝前八時飛行機に 本十二日午前八時飛行機に 本十二日午前八時飛行機に 本十二日午前十時飛行機に 本十二日午前十時飛行機に 本十四日午前衛艦京間 を発言にて「世界の動き 香入の受管にて「世界の動き 香入の受管にて「世界の動き

いふこと

然の話ではあるが▼世上公費

上海會議終了次第廣となつてゐる倚ほ岡となつてゐる倚ほ岡

各武官總領事等

帯で夕食の支度を

領事館に嘱託し若くは日本警 を教行に付いては従来日本 基く執行に付いては従来日本

一、滿鏡附屬地内に於ける滿 一、滿鏡附屬地内に於ける滿 一、滿鏡附屬地内に於ける滿 一、滿鏡附屬地内に於ては滿 一、滿鏡附屬地内に於ては滿 一、滿鏡附屬地內に於ては滿 一、滿鏡附屬地內に於ては滿 一、滿鏡附屬地內に於ては滿 一、滿鏡附屬地內に於ては滿

關東局警察官署承認立會で

松島巡閱使

佛首相最後の努力

に

包園園を縮小され全滅も最早 作は其後着々進捗、さしる最 作の限りを盡した肺園も漸次

III

口一等兵逝去

し人質一名を審選した 無関して匪首以下五名を整 たほか惠美時定大尉、稲井一同部落を掠奪しつつあるを 一死者と十四名の負傷者を出し

郎二等兵も負傷と判明したが

三毛部隊の肅清工作進捗

日本政府の統治報告書その他 常設委任統治委員會は十七日 発賞要子オドリ侯司會の下に 委員長テオドリ侯司會の下に 一年前聯盟事務局で會議を開催 一

関する日本政府の報告書を合を開き南洋委任統治領に

程を決定した

質問事項を検討

計する に於ける通商

▲武田忠己氏(東京)十八日午前ハルビンより 十倉銀三郎に(東京)同 本大倉銀三郎に(東京)同 一次大倉銀三郎に(東京)同 一後天恵より 毎配尾精三氏(大連會社員)同 一段で大連より 一川原畑作太郎氏(満洲航空 ・ 同一後後のルビンへ 一川原畑作太郎氏(満洲航空

を便宜容配するも之が執行の事前に於る時期を開発するを以て其の作用と開聯するを以て其の特別を開東局警察官署が右承認を與へたるときに通報する事が右承認を與へたるときは直に其の旨管轄地領事館に通報する事に通報する事とは直に支援を行ぶる事を請求する事とに通報する事とは直に其の旨管轄地領事館と通報する事とを行ぶことを得ざる事

なその根據について はその根據について はその根據について

に於る討伐工作狀況左の如 自捷の間に迫つて居るが各 (三毛部殿司令部入電)

前田中尉以下四名の名譽の載子の激戦に於て松井部隊では子の激戦に於て松井部隊では

な (原籍京都府)は十八日朝途 に逝去した

満洲國の司法權

Aからず更に割扱東及其片幅 がはいるの人質を容置したの がはいる。 がはいる。 の人質を容置したの の人質を容置したの の人質を容置したの

頭、鹵獲馬百八十七

東邊道に蠢め

に潰滅さる

常設委任統治委員會下

九日審

小統百十二、同彈

捕虜七十一、斃死馬百五十八 た、匪の遺棄死體三百四十五 た、匪の遺棄死體三百四十五

朝陽南方六里の謝字杖子

連集全く監ぎて約二十名の歴 内 一通りではなかつた、鍛冶川 水 一通りではなかつた、鍛冶川 水 部隊長の如きは副官と共に四 中 部隊長の如きは副官と共に四 中 の(事令を従へ四面敵なる山 名 の(事令を従へ四面敵なる山 名

方がなかつたと云ふも當然で期せずして唯立けて泣けて仕がなかったと云ふも當然を山りの夜半聯隊族を山

は国務會職を開催、期職を決定して後回答をなす方針で共定して後回答をなす方針で共定して後回答をなす方針で共

前田中尉は從来數次の討伐職に勇名を馳せ珠励者の繁頭を以て目されてゐた人であるが此日も後方より部脈の酸語に記して最優し奔抱を斥げて依然指揮を續けんとしたが竟に起つ能はざるに至るや、方際長に「途中で倒れて残念だ、あの山は要點だから是非取れよ」と云ふ間もなく逝つたのであつた ツソリーニ首目にかけ、英國政府の目重を要勝並にリ英國政府の目重を要勝並にリ 急而報を發し最後的に和協を十七日ムッソリーニ質相に至 協工作の活路を見出す意向 **七ル首相は情勢が極度に重** 

最小限度の要求を明示する機 です個に闘する伊太利政府の でするのでは、 のでするのでは、 のでは、 のでは、

交に局限する必要を力配して に於て創裁案の範圍を經濟断

22 爆中止を通告

告

**ビルフザスアベバ並にデイレリー政府は各國政府の要請に** 

に對し通告したと傳へられる爆撃せざるに決定、各國政府

慰問と現地觀察を兼ねて長岡 一時山海陽音飛行機にて来聞 一時山海陽音飛行機にて来聞 一時山海陽音飛行機にて来聞 一時山海陽音飛行機にて来聞 一時山海陽音飛行機にて来聞 一時山海陽音飛行機にで来聞 一時山海陽音飛行機にで来聞 一時山海陽音飛行機にで来聞 一時山海陽音飛行機にで来聞 一時山海陽音飛行機にで来聞 一時山海陽音飛行機にで来聞 一時山海陽音飛行機にで来聞 一時山海陽音飛行機にで来聞 一時山海陽音飛行機にで来聞 一時山海陽音飛行機にで 一時山海陽音飛行機にで 一時山地のでは東洋館に一 一方、十九日午前九時發飛行機 にて曜任の筈である

れも可有之と被存候間乍畧儀紙上を實は一々拜趨御禮可申上筈の處何分度は一々拜趨御禮可申上筈の處何分

昨夜失火の際は早速御馳付け

失火御見舞

振東匪を殲滅

六百の匪團あど形もなり

陽松井討伐隊

賊の逆襲に會

部を同樂會會堂に招集して今 資家は特達業者の將來に非常 な不安を抱き最近同業會員会

「率天國通」率天に於る満人 関の資本金の相當大なる特産 関の資本金の相當大なる特産 を商業者の營業方針は總で現 等商業者の營業方針は總で現 等商業者の營業方針は總で現 を下るたところ本年に入っ で率天最大の徳順成粮総その 他が側産したのは本年六月大 連特産界の動揺に捲込まれ先

實在營業政策に立直り今秋の上を勧告するところあつた、上を勧告するところあつた、上を制合するところあつた。 强材料

大豆跳ね上る

の大豆に一千五百噸の賣買約 定成立したとの報及び参票軟 に刺載され市況一段と硬化 し大豆の如きは前日の大引け 相場に比し各限十七銭乃至三 十三銭方品騰し五圓臺の大開 門を離なく突破し本年五月始

先物取引 を中 義で進むべく決定 産商

康ニ住ハ

○ 本十月十五日○ 一年十月十五日○ 大子交付ス○ 大子交付ス

rup Eian Wえ、お化粧下にムラなく白粉が良く伸び、 なく白粉が良く伸び、 な化粧押へとして汗に も白粉崩れのしない。

かやう苦心研究されたもののつてどなたのお肌にも合



非市民扱ひをしてやつてよい が1る不徳漢に對しては断然 か1る不徳漢に對しては断然 らばその依つて來る選由を一般に徹底されないためと • 國產最高級品

『神戸順通』約五ヶ月間に耳 つて近東諸國の柳清親寮を行 つた松鳥肇大使は十八日午前 八時半神戸入港の郵船筥崎丸

特別價格にて御分け致します

告

と各種生地及毛皮等豊富に取揃え營業致居候関何本倍重御引立の程備に御蔵様の御引立により日に鏖盛を極め厚く御禮申上候今回樂務擴張の爲左觀へ移

演述町二丁目二番地(東一條通と公事堂グラウンドの

下宿 向き譲りたし

秋田商會木材森會社

太田醫院

昭和十年十月十八二常経町一次原に應じます 歸院從前の 通私 b

般暫診く

帝 馬

局

理經 人立會ノ上當籤 セナルニ 一括彩票ノ片

抽籤ノ結果當籤番號並配第七回籌(大)挑彩票ノ發

左額

大搖彩票當簽番號 並配當金額

第七

回壽

一一一五〇五 八八八八八八八〇〇二 二 〇〇〇〇〇〇〇〇〇四八八金 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

五一一〇五九四二五六 五一一〇五九四二五六 六七三二一八六二四八番 二一四五四三八三〇〇號

英金で中央事務局より各地方 機能に補給する外一般養捐金 を募集し之れを政府と協力し て配布し或は安睾兩省水災に

祉

說

第三次理事會席

於て討議をさけて審議するのでありますが此職協を通じて でありますが此職協を通じて でありますが此職協を通じて でありますが此職協を通じて であります。故に協議官に於 て獲案単項の實現を聞るので と実際所と民業代表とは對立し て保に置かれず共に建國の協 同者として誠小誠意以て蔣洲 となるのであります。

六日附本紙

取鄉鄉

れ難誌を

要導すると共に讀者諸氏の注ると思はれるが當局の取締を他にも此の種の被害が多々あ

の弱体内の弱体内

上の工作には積極的生活向上工作と に別れ前者は現社會軽済組織 を企圖するための工作で現在 を企画するための工作で現在 を企画するための工作で現在 をでのたり、或は政府に於て指 をでのたり、。

「東京園通一天城アレキサン 「東京園通一天城アレキサン 「東京園通一天城アレキサン 「東京園通一天城アレキサン 「東京園通一天城アレキサン 「東京園通一天城アレキサン 「東京園通一天城アレキサン 延期 為替補償稅は I ジブ は 政府の 2

期七雜取棄公 である旨録返し抗議しエデアト政府の反省を要求した を附言した、よつて天城總 を附言した、よつて天城總 を附言した、よつて天城總 を附言した、よつて天城總 を附言した。よつて天城總 を附言した。ようて天城總 を附言した。ようで表書を である旨録返し抗議しエデ 態度

北支我觀。

| 数小鈴と云ふのを身受けして 数小鈴と云ふのを身受けして

無い事らしい最近は平準を訪る位は張作霖ならずとも舞のる位は張作霖ならずとも舞の

下るといふ有様であつた。 態を其手耐の程度を探る営めに さる日本人を介して張左右のだか ち其手耐の程度を探る営めに さる日本人を介して張左右の かと其れとはなしに関かせる と答は極めて簡単である張作と 『日本の女の泣くのは昨日 と答は極めて簡単である張作と 『日本の女の泣くのは昨日

人見た様なもの一等云ふ馬鹿 だ。アングロソクソンが印度 だ。アングロソクソンが印度 人に對する場合は優越感と共 に優越力を保有して居る、日 本人が支那人に對する時は優 越感丈けで優越力へ最後の武 力は別として)は疑はしいの であるから少々心細い。

ペントランデスではないが歌 なことは永遠に來山かも知れ なるうすると北支北では無い 支那全体の後見役を厭でも願 でも引受けねばなるまい、其 れが爲めには今日より顕家と しての精力、銀氣、國費の溴 としての精力、銀氣、國費の溴

16

滿洲國總務廳人事處編纂 ——康德二年八月一日現在—

金金 四五十 統統

最

新

刋

一生二十九萬月月月月月日限限限限聚

競九十六 百五年 四朝

一體張作霖は自分の姓名を中の男ではあつた。率天見物に付き物であつた。率天見物に付き物であつた。率天見物に付き物はと云ふのでやつて來る有象ではと云ふのでやつて來る有象なとに因つて日本人を感心とである。

を世の方がより、 を世の方がは時齢しては確を埋めるが、 を世の孤見ながとなるをは を世の孤見ないで居 の孤見ながらざるをは を世の方に無 の孤見ながらざるをは を世の方に無 の孤見ながらざるをは を世の方がよ をせの方がよ 一本語を非職品が あるが補別域際

を云ふけれど我園民の馴心は 人が附いて行くか如何かも疑は たい、事情も満洲に觸れば園 に 民が立ちどころに美血を湧か

澄潮たる新陣容、

販賣店

會は聯合協議會と称する機關 この協議會は各縣、各省全國 この協議會は各縣、各省全國 と宮ふ三階段になつて閉かれ ることになつて居ります大同 三年二月廿七日の第一次全國 勝合協議會、康德二年一月の 各加方聯合協議會之れは奉天 保甲團 

家は二

**商**况欄

血

况

七月十三日

結團式 於る

訓示

本視察より

2

王道學會 等組之 (總說)

新京日日新聞社

村京取引沙市况 (十月六日後楊) 地 (1-1 值段) 地 (1-1 值段)

込

Rル 事

人務

十月二十四八日曜一年前十時ョリ

は ・一行六名は ・五分新宮藩 ・五分新宮藩 ・五分新宮藩 

| 113×50 | 115×50 | 113×50 | 113×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 | 115×50 |

各

二月月限 110 五 拍

貨

店舖

及

アバ

糖友館 サードウン

# (# A/1 # #)

五四五八百五八百

スピーデイな型 ¥ 2.50 ₩ 3.00

能奉低下的祖出から 虫心 マクニン 米い酒 店雇

尾崎隆吉二十八十 村

和事文月 務 房 刊 雅 品 具 誌 新京吉斯町鎮座省 ワ書店 新川川川 香

へ係員即時参上 の保護の 鎔接機!! 電氣器接換級各種 大 適市 山縣 通電氣器接換級各種 大 適市 山縣 通 大連出張所 東 電票器 大連出張所 全滿代理販賣飲式福昌公司機械係へ 所一四九番地 所一四九番地 新上城市縣比須 御用命は

するのが第一であると信じ てあます日本は此の信能の 好き模範者でありよき師で 此の好き指導者たる日本に 範を採つて満洲國內政の改 革に向つて邁進したいと思 ひます

大連為替 100、五0 100、六0 100、五0 100、六0 100、五0 四萬 100、五0 四萬

無興職者にても可、烈切指導教育す自総腱脈書送附のこと而睽日通知す 日本生命保險株式會社

新京出張所社員指導養生所

外に一種の詐欺的行為である 特に一種の詐欺的行為である トスをしている。 ・は月遅れの難誌を置去りに ・は月遅れの難誌を置去りに ・はり遅れの難誌を置去りに ・はり返れの難談を置まりに ・はりませいが是は

▲上海爲替

場

年齡二十五歲より四十五歲迄での相當被審ある人 外務社員募集

0

●長 ボックス革 一條通 靴

城金点靴

百足限り

處分品特價投賣 一各種豐富荷揃 電二九五二番 . 圆五十錢

善委員會設置

商店街の發展に資す

従業員の 魯北鐵湖系

哈鐵·對策を考究

## 舊路警處員に對する 職金支給に難色 處屬關係に法理的根據なく

おりの降雨で十六日には水位 割入時を控へて減水離に惱み になれた概で江も順三日前

を埋匿して迷げたものと見らしく、事變當時反軍が之の砲彈は額軍閥時代の物

対めてである を量に競見されたのはこれが を量に競見されたのはこれが

明治節に擧行

(大速支社酸)大正六年以來 毎年舉行されてゐる市内バス 毎年舉行されてゐる市内バス 一部十一月三日明治節を卜し滿 健から五班(一班に二名)銀 情とれることになったが一般 市民からは競爭所要時間を懸 市民からは競爭所要時間を懸 でた、因みに市内には目下母 でた、因みに市内には目下母

烟被りで押切

る意向

擧は

三球より十球まで

留局の怠慢間

題化せん

大のに際し、仄聞する8 補選を命ずるかの一途が で補選を行ふか領 で相選を行ぶか領

| 大連 名の識席を確保して経營優勢 | 管體は之れ又軍部出身の某中 | 大連市 後援大連菓子商組合の第二回 薬子祭は十月十八日、十九日 東子祭は十月十八日、十九日 東子祭は十月十八日、十九日 で は菓子陳列會を催し斯楽の夢 に基子陳列會を催し斯楽の夢 に基子陳列音を催し斯楽の夢 大連農會品評會

丸茂氏登場に决定す

満鐵に合流

市中派の形勢依然補足し難く

十八日より三日間沙河口公路 営に於て蔬菜果實品評會を開 営に於て蔬菜果實品評會を開

の であるから 常然 意慢のであるから 常然 意慢のであるから 常然 意慢のであるから 常然 意慢のである。 俳レー方から二てゐる、 俳レー方から二

科の

解决の見透しつく

に作ふ總局及び路局に直る全 一 名儀路總局の機構改正並に之 終

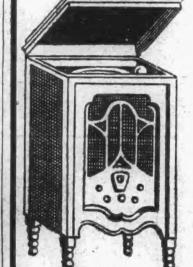
吉林商議々員會 する順群を指討中である に関連を整して遺産せしめ に通過激散的四時間の後 に適適激散的四時間の後



第第百貨店内 電三一六一番 第第百貨店内 電三一六一番

貨玉突台

三笠町三丁



ナショナル超小型 各種ラデオ電気蓄管器

完全騎頭出來ます

に於て全極東トルス に於て全極東トルス

承徳神社秋祭り

四四一九八〇〇一一三〇〇五五七年年年年

極果タター

ナショナル 代理 店 RC Aピクター會社特約店 クロスレー會社

₩#4920 · 5389₩ 東京無線新京支店

「都とする情である」 「一部とする情である」 「一部とする情である」 「一部とする情である」 端照輸入株式會社 貨庫新築 36 年最新型入

荷

作品發表會

ラヂオは一家に一台! ゼヒ御試聴下さい

時より三時までの間

萬廣告相談所 新京日日新聞社廣告部 も無料で應じます午後二如何様な廣告の御相談に

み

社會資合融金和昭



其他建築材料一般

●搬運クツラト● 個人の九大量・八ノ三町曜

電話と金融

特別廣告 イ 員 員 持 女 庁 員 子 女 庁 員 守 給 中 島 帝 新京東二條通五人 入島小學校前 電話 5 2 6 4 番

毎度有離りに違います 一泊其純短期宿泊歡迎 簡易旅館並ニ 高等 御下 複

新築貸室有り

**萩本電話店** 

交販 資係募集機関三ッタャ旅館方ハヤン

家屋

前會數光拿四五通條一東京新

切貸及負請 司公置車動自和大

回回回回回回回回回回回 新京人形於柳 / 12 Lt.

が宝カフェー四旗人 が宝カフェー四旗人

電話金融及賣買 会銭付及仲介土地建物管理御用 まず二丁目富士アパト・内部 は 山 洋 行

余

**吨人美女給數名募** 

**菱形**加味

東洲灣洲田子

八事異動と共に

用圏の薫り

高き

十九日から

分です髪つて居ます

是非共今後よろし

美。

美姬殿

熱

し市政聯備處数 し人質五名を審選してこれをる二十日を結核 二時間にして敵雄二十四を斃る二十日を結核 二時間にして敵雄二十四を斃る職員を持ち、 の に 學行

では之が最も機宜に適して居 のれにしても本間題は次即選 のれにしても本間題は次即選 のれにしても本間題は次即選

る秘訣であり

るや顔が由な受はたいなっています。

るひあ自まんが

×××× 生涯までも

成功する話とは縁が違いこれはお纏さん方としてしればお纏さん方としてお見

# 生を支配する

※理 ※獻 ※立 ※

六、〇〇 建國體操

血液をふやす食品

ふ

0

番

組

# 見合は慎重に、その心得は

?

これは若い方に喜ばれる季節向の西洋料理でございます (材料) (五人前) 秋茸の笠だけ十個分、食パッや斤笠だけ十個分、食パッや斤笠がけ十個分、食パッや斤笠がより

焼きを添へて出します。 たにのせ汁をかけ、玉子の目 上にのせ汁をかけ、玉子の目

元分だといよ、観が熱 の方々との話により なの希望條件も合致 はならばお見合をし 数 ※ ※ できないやらなは、※ ※ ※ と物足らなく感 ※ ※ ※ と物足らなく感 じるでせら。三十才前後の、 はつたならば、まづ先方に、 自分の朗かな總明さを、はつきりと印象づけることが大事 きりと印象づけることが大事 自分の一生の伴侶を求むる場 自分の一生の伴侶を求むる場 自分の一生の伴侶を求むる場 自分の一生の伴侶を求むる場 に、 と思ひます、それは娘さんと

をあげる 12 いと思ひます。附属のと思ひます。附属

てれとなく、對手のないこれとなく、對手のない

× × × ※ 劍 ×

大丈夫と見當が

準備と 見悟がな ります。一生の大事な場合に 以つて、仲人さんなり御雨舞 にはればいけません。これは前 お見合の場所はあまり人出のまた郊外散歩とか娘さん或ひまた郊外散歩とか娘さん或ひ 話も碌にできな 注意すべきことかと思ひます ったといふ胃平さへあります 底な人は嫌ひだと、繰談を断 られないやうな、不嫌にできない、相手の領にできない、相手の領 ゆつくり 話をするのも、お 精に行って欲し ないであるべ

準備として

## 秋・夜長の團欒に贈る 子供に家庭のタ 大阪桃谷演奏所より中繼

への、字楽の都 今か今かられば千代人 かたみは千代人 かたみは千代人 かと君は

めよ、今こそ別めいざらば、身をたて名をあげやよはげるる後にもやよわするな、互にむつみし日頃の歴、別

(ロ)婦人從軍歌

(ロ)教郷の魔家

作作

なるへばいとど.

た友やそ頃のなのい。

指揮・ 內 田

敦ひを求め漸く危機を脱し

はびかわしさそへるものを 気雲雀こよこよく と、友

今やと行奉まったがざして大野の も行ふ色香をなる変は千代も を る変は千代も は る変は千代も は る変は千代も は る変は千代も は る変は千代も は る変は それる と るをなる と るる。

はつらんその昔、優とのその音、優となる、遊びまし、遊びました。 今やれの、遊びまし

東 好義 作曲 火筒の響遠ざかる跡には農 を設立てず、吹きたつ風は なまぐさくくれなる染めし である。

さも似たりとも似たり

とお家の坊ちやんが見えてど

春風ふけばみやまはわらひみぞれや雪はゆめののかすみ、百鳥千鳥こよくくと、暮るるも知らでさへずるものを、われらが友もやたぎのかげに、遊びてらたたちないがに、遊びてらたたびて遊べ

お家へ もうおけません。

思ひ切つて飛び出しま 好いお天氣なの とまだ見ぬ門 リコクリ、、、と云つた默景子守明の様に聞えて來ます。ボチ君つかれて何時しかコク やらお家の小舎におさま

運つた様子をしないやうにたは希望などと、あまりか

の論体格ともに関係が、R都にもよりますが、

戦襲なども、

こ、あまりかっての態度及

お見合と

い…… くり仰天、途端に 小僧の自轉車にひ

追つかけろ」早くてとても追っかけろ」早くてとても追ってあるぞ、それを歌が走つて來たぞ、坊 而しポチ君は ▽思ひ出の唱歌 合唱及齊唱 唱唱

關西支部 水野陽縣幸代 武澤會

2 水野康孝

3

、目に見る如 事や、産山の が厳のひまに

質金たり でははれて、月に をも港も夜ははれて、月に ではなれて、月に ではなれて、月に ではなれて、月に ではなれて、月に ではなれて、月に

(小學唱歌)

買ひ喰ひをしない様になりま

き我がかみの子は、ゆみと き我がかみの子は、ゆみと きれがかみの子は、ゆみと

いさをいいさを

に富む婦人 に富む婦人 に富む婦人

きふるさとやさびしき我家のというな人今何處さびしあんびし友人今何處さびしいな人の何處さびしいない。

(P) 蝶々(小郎唱歌) での葉にあいたら標にとまれ、標の花のさかゆる御代れ、とまれよあそべあそれとまれ、 て梢にとまり、 `ね朝

仰げば縁し我が なごるや菊の大 おごるや菊の大 なごるや菊の大 (イ)仰げば (小學唱歌)

なんか出來ません。

優にすみ

つてゐると大き

H

とまるも行くもかぎりとて かたみにおもふ千萬の、心 のはしを一質に、さきくと ばかり歌ふなり

つる臓の音、い 田中總積

艦氷以前の物と云へば先づ新古刀の區別は前に述べた

元曆

人皇か日本の刀劍銀 ムふ、此の元暦は即

3

情報 前 あるとか、福岡一 である。又應永以後は何れも である。又應永以後は何れも

して居るのでも して居るのでも

には日本刀の鍛へ方が随分として居るのである、 中れは 歴 を成とを楽して居る、 即ち其間 が前までは銭山から鎌を掘出 して居るのである、 夫れは 歴 が前までは銭山から鎌を掘出 し之を銃の塊にして出すと刀 しつである。 大れは 歴

へ三一荒城の月

并上刀劍店主·記

あるから、是を第一期として 元暦以前とする、是は吾々の み云ふのでなく昔の人も恁う

傷の秘密があつて、

のる、又秘密がまのつて、同じ簡単

生井晩翠 作詞を高橋の花の宴、めぐる盃を高橋の花の宴、めぐる盃を付さして、千代の根が枝がでし、昔の光いまい

まいづこ をは照りそひし、昔の光い まいづこ

二、お江戸日本橋 二、お江戸日本橋 本」銀曲は、日本の古い民 高を管絃樂化したもので、 この種の作曲の嚆矢とする で、 で、 をかいとする で、 は、日本の古い民

▽管絃樂

指揮が 内田 元

本」山田耕作編曲 高肉、魚肉、 三、ブイタミンEを含むもの 小麥、米、玉蜀黍の胚子、 はられん草、ちさ、小松菜 牛肉、豚肉等 が論以上の三成分を共に含有 する食品をとる事が一番理想 する食品をとる事が一番理想 する食品をとる事が一番理想

も歌のに

はりけり、ああ はりけり、ああ はりけり、ああ なとの操もかれて、あはれあ <sup>院</sup> 醫學博士吉田秀雄

興安病院

内科・小兒科 東安大路興亜街角 東安大路興亜街角科・小兒科 ・小兒科・小兒科

美しき我子やいづこ、美しきて別れゆきにけり

(\*)弦の光(小唇唱歌) 弦の光窓の雪、ふみ霞む月 もかさねつつ、いつしか年 もずの月をあけてぞけさ 赤塚、久子、後一〇、〇〇新京) 今迄は造血の成分として鑑が大慶重ぜられましたが最近では鑑ぜでなく更に網やブイターとが必要である事が明らかにされました。

一、肝臓其他のモツ、牛肉、卵黄、大豆、豌豆、糖、ほりれん草、緑薬野菜、キベラ、薬花牛等一、網を含むものは肝臓其他のモツ、牡蠣、ココア、チョコレート、豆類鳥肉、魚肉。

八科花姬森 姙婦診察 助産應召 野学士に 產 朝日通り二一(とどろ 電話 五九四七 源 E

冬のお仕 紙ご文具の専門店 日本橋通り \*= \*-三大 誓行

食品をふやす



機長衛さんといぶ老人だけは 質ひ喰ひが大嫌ひでした。こ のお爺さんの孫の正ちやんも 買ひ喰ひが大好きでした。が 一定ひどくお腹をこわしてか らといふものは、大髪とりて 入院隨時

十九日 (土曜) ス (鮮語) ス (英語) (漢語) を表現のでは、「本語」 を表現のでは、「本語」 を表現のでは、「本語」 という。 「本語」 という

京大道京連道京

(畫) 三、00

島家 件 と原太郎 作 を が 大郎 作

正式標をうちはらひ、我子正式標がよせて、父は兵庫に赴かむ、彼方の浦にて討れせる、汝はこゝまで來つれども、とくとく勝れ故郷 、(イ)植生の宿はかが宿、玉のよれのもしやないまおわが宿よ乗しともないなりません。のどかなりなおおかって、花はあるじ鳥は大きのないなりが宿よ乗しともないない。

レコードでおたじュードでおたじュードでおなの 鳥類家族は東京市の縣営募集に常選してある。 鳥類家族は

新京清和街七〇二號(白樺森 明 再へ約三丁入)

電話六八八七番

本のでは、 本のでは、 本のでは、 本のでは、 をつくづくと、しのぶ鎧の袖の をつくがくと、しのぶ鎧の袖の でできない、木のでは、 でできない、木のでは、 でできない。、 をつるが鎧の袖の はたまない。 をつるが鎧の袖の はたまない。 をつるが鎧の袖の はたまない。 をつるが鎧の袖の

へつ大棚公

紙芝居

(時五後)京東)

正ちゃん

(位) 六、二〇 (日、橘語) 六、三〇 子供と家庭のター 大阪桃谷演奏所より中欄ーー、管絃樂 (楽語) 本、三〇 子供と家庭のター 一、管絃樂 (楽語) ス・三〇 子供と家庭のター 一、管絃樂 (楽語) カー・ 大阪桃谷演奏所より中欄ーー、管絃樂 

今晩の五 本、神のたくみの登しや の唐錦、夏は凉しき月の絹 多は鷹白き雪の布、見よや 多は鷹白き雪の布、見よや 多は鷹白きっこの天然の織 りたま

(東京)

に弾き給ふ 日本獨特のもの

たもの。程人口に膾炙されたあらう程人口に膾炙されるいかつぼれを知らぬ人はないのであらうれるいがであり、かつぼれ」 さを覺えるしめやかな曲といふ騰は今尚、なつかしといふ騰は今尚、なつかし

そのリズム

毛皮





土)

野 山 0 思

N

の歌史を添える事。なった とくくくと落つる岩間の書 清水

かのやうであつた。 喉が乾いてゐたので二人は やたい岩清氷に口をつけて飲 んだ。

の近くで

「庵の中に一度人つて見や と心に感動するのであつた。 と心に感動するのであつた。

ない

「吸は

(B

ところ雨が漏り壁が落ちてゐ るその三叠敷き位の床の上に

と近子は言って不安そうに 青い顔をして私を見るのであ つた。 それから急た坂道を登って ゆくと、突然。

○だんにて常にゴホンゴホンと際いるでんにて常にゴホンゴホンと際いるだんそくにてゼイゼイ息切するとの施病にて常にがなきせき出るの施病にて常にがなきせき出るのたん臭氣を帯び時水血の混るとのを人又は成人の虚労性も出るとの他知何はどの難症しつせきの小田世のののないとのを見なるのには必ず場合する。

小せいるるのでるい

一十重にからみつくのが成の上に立つと又も

大喫茶グリル

日本 橋道 一ではすまないけど、何か も三つ ではすまないけど、何か も三つ ではするかいにと、何か も一ではするかいにと、何か も一ではするないけど、何か も一ではするないけど、何か も一ではするないけど、何か も一ではするないけど、何か も一ではするないけど、何か

ま妾三岸でがい

たの香糖なんと味飲をも実践

鞋\*経験は

りめな少

せてれ無

き服さばに

を用持続て

止し人なる

るし小学果芸 特にの見い者に

あち縁むし

龍

角

主

新京

ラ

チオド

ラ マ 研 究會

四 放送脚本

一葉から約一時間余りの後一葉から約一時間余りの後の温か相な電燈のついてあい。温か相な電燈のついてあい。温か相な電燈のついてあいまかが話をしてある。温か相な電燈のついてあって来ました女作居らしまひましたが、町で道子と女郎の音、遠くう人(雪になって、変硝子が関白になって、変硝子が関白になって、変硝子が関白になって、変硝子が関白になって、変硝子が関白になって、変硝子が関白になって、変硝子が関白になって、変硝子が関白になって、変硝子が関白になって、 にどないしやはつてん… しく出てるので……ホホ、 しく出てるので……ホホ、

< 0 3 0

楽で

本二の程創立を見た新京美術協會では来る十一月八日から十日迄の三月間記念公會では来る十一月八日から十日迄の三月間記念公會で終了側立記念展覽會を催すこととなつたがこの展覽會の前途を入りであり、美術工藝品で記して三十二名の今員は目下心血を注いで力作の完成にものといて力をも協會幹事ものとはである。

竹になって下さ

あの際は姉さん。食ひたかがきないの。 ですがですがいまったと言いてすがとない。

はいく、では一寸、おんま御銘くりと(出て行く 表声のしまる音、風の書) してすか。今の方は女中さんですか。 してえ、そうなの、どうかしたの嫌さんですかしたの節ちゃん気 がでも思いの? おも知らずに姉さんがあいき)姉さんも苦勞なすつたでせられた日は何になってたと別れた日は何になってたが、姉さんはあの時機故だのくなって僕たちのために機故だが、姉さんはあの時機故になって僕たちのためにもない。

## 實對。 行する A. 西田せき等の病症に張る草の配郷なればたんせき、ぜんの配郷なればたんせき、ぜんの配郷なればたんせき、ぜんの配郷なればたんせき、ぜんの配郷なればたんせき、近後の用意 U

草ん 草ん貴意切め

す

りと化粧品 新京與安大路六〇六 電話六四四一種

痔疾科 小兒科

論滿 油 清 洲 事 變 市外郵送送金確實 株 都 業 債 式 券 賣買

公債

松尾盛男商店 五

着荷新 注文品 既製品 は無税港大 御急ぎの御注文は一日で仕立まり 秋多物出來上

大連市連鎖衛 電話3.三八八八名



(五)

ことから道は全ぐ小さくな おある。 関の上では杉の密林の中 かり急だったので、 私はともすり急だったので、 私はともすれば 着りそうになる近子に 手を貸してやちなければならな かつた。 そして二人の足音よかった。 それが 医行論であった。 とその時二人の目の前に四 工年ばかりの明るい 平坦な地の中に で来るのであつた。 とその時二人の目の前に四 とその時に立つた。 こんが提供の中に であると同様に、全に一人が足音を できるのであった。 とれが医行論であった。 とれが医行論であった。 とれが医行論であった。 とれが医行論であった。 とれが医行論であった。 とれが医行論であった。 とその時に立った。 とれが固定に、全に二人を止めると同様に、全に二人を止めると同様に、全に二人を止めると同様に、全に二人を止めると同様に、全に二人を止めると同様に、全に二人を

に 「ア……………」」

と近子がらめくやらに呼ん

だ。ギョッとして振り返つた

が 私は、彼女がまつ蒼ヶ顔をし

っ てあるのを見た。「あたしの

っしろを見て頂戴、誰かあた

しの腰を引つばる人があるの
上 さつきから」

私は彼女の徒を見たけれど

も 乱は彼女の徒を見たけれど

ながまつ背後に感じるのであつ

をその背後に感じるのであつ

かせ、親切な内臓が片手に茶 碗を持つたまゝ彼女の口の中 に何か黒い丸雕をふくませて というで、ほんやり見てゐる

たけれども、近子の目に見え なかつた。

「誰か白い着物を着た人が 後から私を引つばる!」

と彼女は言ひ續けて、まつ を彼女は言ひ續けて、まつ を近子の恐怖が乗り移つたか のやうに見えた。私はもう一 も近子の恐怖が乗り移つたか のやうに見えた。私はもう一 で自い着物を着た人が、自 に言と夢中でどん(と き上げると夢中でどん(と き上げると夢中でどんが、自 を彼女は尚も私の腕の中で 大の腮など聞えた時に私は初 で人家が見え、遠く下の方で 大の腮など聞えた時に私は初 かて表に た。私はもう一

人四二 日日半 分分分 會採 東京市 社式

五三二十十十 鎮線線

本 日 十 八 日 分 分 分 分 分 分 分 分

膝 井 得三郎商 香泉京(67) 店

010-I



レコ

音蓄

店の門事

日本橋頭二十五(市場横)

粒三百メ

▶目科業營◆

製機上表新 械 造床敷替疊

GLYCO, ブリコ

玉

職店

はいいない。 ないでは、 世會から見離される説れさであり と電分が無識し、窓に、所領は進して、松格的な神紀表際にかい つて世舞り、特殊ある献明も天才 も一朝にして、独人慶人となつて も一朝にして、独人慶人となつて

貴金属宝石類 吳 服

翡翠珊瑚瑪瑙剌繡

不眠症に適應 ならぬ



一九七五三二一十

満 郷御用品 ヨーキス

炭順撫!!料燃

一式下山口器用

哈爾賽事務所電五四三二番 来天事務所最話三二一六時 来天事務所最話三二一六時 来天事務所最話四〇八九番 来天事務所最話四〇八九番

からです が出來、満洲向き が出來、満洲向き 満鐵理學研究所試驗濟

完防 全止 連續燃燒

■敦賀直航 ●さいベリキ丸 (月三回) 毎一ノ日出帆 毎一ノ日出帆 毎六ノ日出帆 月三回)

日本海汽船

東

繡

北日本汽船

· 才 法 市長高 一元元

篇变庆

助之卯下山屬東坡山 行洋原陽店賣販

大歡迎を受けて居

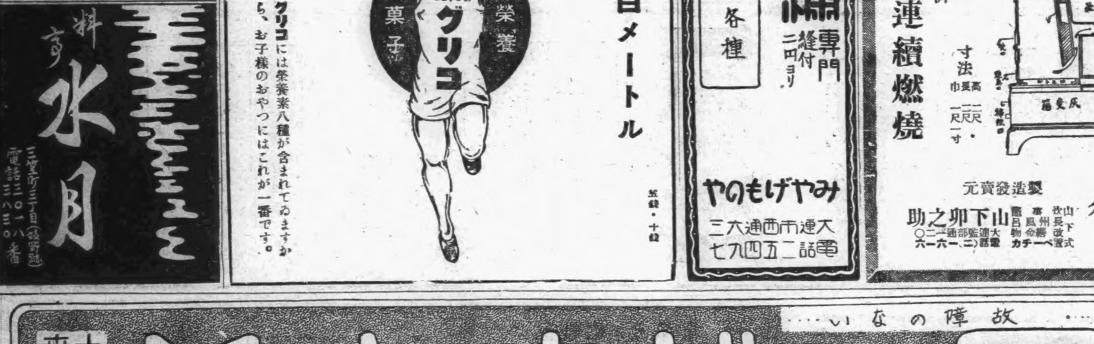
どこの御家庭でも

(炊事兼用)

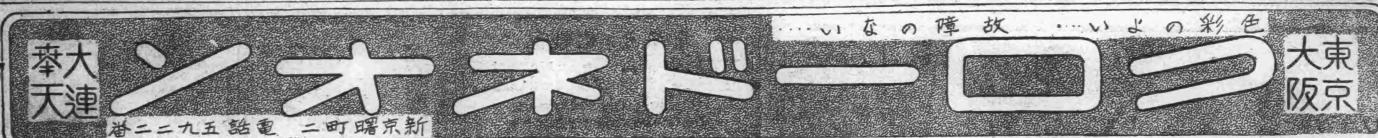
医家の推奨 病 薬

の選定

各地薬店デリ



電話二〇三二番





全株 製式

を理料るゆらあ るすくまう・に的定決







味

來味し んなに AJINOMOTO.

FELTT

SEMUNIAGE ITO

TORYO JAM

(一日)

炎炎たる猛火中の

阿鼻叫喚

約廿萬圓

3

昨夕帝都キネ

樂界

龍兒

つて忽ち現場へ触けつけた。

お客様が無事で

場所柄空前

火災を生じた帝都やネマは最初十一萬國を日本海上保険會初十一萬國を日本海上保険會社、宮國保險會社に入り後で大連火災に四萬國が映寫機その他 貴重品に、残り入萬國が建物

所轄領事館署では鎖火と共に が発真を本署に招致して撤資 でのた

**も一人の被害者を出さずして** 出指揮に當りさしもの大火に

何よりです。

川本巡査

第一分園の鐵道北分園は小松と協力よくその任に當り消火に盡力するところが多くそのに当り消火に立力するところが多くそのが

び出てみると屋根の上が盛りてれるのは割にも入つてるかが他の會社にも入つてるかが他の會社にも入つてるかが他の會社にも入つてるかが他の會社にも入つてるかが他の會社にも入つてるかが他の會社にも入つてるかが他の會社にも入つてるかが他の會社にも入つてるかが他の會社にも入つてるかが他の會社にも入ってるか

けたが 防火 設備 の不完全な防護関等協力必死の活動を積 建築とて火焔は見る 全館を嘗めつく

と共に益々猛

(土) 喂 して豪変 餘に

(H

怪我人もない様で何よりで 無事避難して頂いて一人の のとも申譯側座いません、 等ひ火は三階の天井裏から のでお客様は全部 のでお客様は全部

を指揮し、精洲関消防験では構成常防除では構関隊長部員常召集を行び現場に急行薪京

門 長自

努めながら置る 大株主の前田伊織氏は防火に 實山洋行主前田伊織氏談

る所に電話が掛りまして乗した、恰度夕食をやつてる

留都キネマでは早穂現離物を改築し工事も大急ぎでやつ 正月興行に間に合はすー

Ti

年計畫完了

近く

\*\*\*\*\*\*

謝近火御見舞

新京八島通四〇

には間に合せるとい

推展し康徽三年で第一期五 \*\*\*\*\*\* \*\* \*\* \*\* \*\* \*\* 北満の青空に輝 順天大路の外順天公園南北主よる豫定道路は南新京課安選大路、重聖大路、重聖大路、 化粧急ぐ成

新幹線道路

建土

五

+

嵐

組

電話三九三四番

都建設局

を見ると一般民衆に排下げた 本年九月末日までの事業成績 延長約四十粁、上水總坪敷は約百萬坪、 元成、公共施設である 上水漬施設八 銃後女軍の護りへ

菜は實に著しい

要道路の完成

謝近火御見舞

新京朝日通八九番地

装は大町大街南 **継りに任ずる意大任務にある** 東家庭の人となつては鉄後の 前別にあって胖 帯法の説明

なほ

ちの質包射撃 けふ陸軍射撃場で擧行

を 無作法の見趣、射 操作法の見趣、射

謝近火御見舞

爾京大經路

猪口鐵工所

ど完成する即である 一瓦に付國幣三圓五角と決定一五年の一五年の一十八日、清州國財政部は産金

マーソース 京警理専の本 中々の特人、小唄でも薄元で ・ も器用にこなすといぶ個人だがあれた が隣に至つては道に入つたも りもつた機組が三十三組とい か出雲の神様様足の熱心より

謝近火御見舞

**電話大四四七番 滿 洲 鎖** 

業社

謝近火御見舞

五六三

然院

新京朝日通一六

坂本商店

ターソース からしく出来 京警理専の才 京警理専の才 で見ごつそう

富士町 福 百 員 宛醵出 經兩氏

数々國防献金、防空献金の実 で防空献金、防空献金の実 を大十八日富士町低長石山金治 を十八日富士町低長石山金治 を十八日富士町低長石山金治 を十八日富士町低長石山金治 全市に渦卷く防空献金の熱誠 さんも大喜びである ロ前間五四一、五四二兩列車 おおが集まつてゐるので温長 一、五〇二瞬列車、及び吉林の一般では、なほ間裏内では、共不通となり當分復舊の見込

弦に謹んで失火の御詫びと御見舞を牽謝候等の被害も及ばさいりしは偏へに各位の御盡力の賜と感謝に堪へずは早速御馳付け下され消火に御盡力賜はり御蔭を以て觀客諸賢に對し何昨夜弊館失火の際は皆樣に多大の御迷惑を相掛け候段恐縮に奉存候就て

新京ダイヤ街

都

牛

र

寒茶千 壽 賞 謝近火御見舞

ナッスーゴンドラ

電話三四七四番

弊館議

謝近火御見舞

北清洋行上川廣三郎

平古線は一昨 前、两陽兩 豪雨のため 奉吉線一部中絕

羅問が上下雨線 行ぶの止む無きに至った 車は朝陽鎖より折返し運轉を 事は朝陽鎖より折返し運轉を 事は朝陽鎖より折返し運轉を

を思ふ と思ふ と思ふ 臨檢の交代時 突然の異變

山田巡査語る

驚きの案内 た新京暑川 本巡査は語る

京

+

見

職機の領警山田巡査は営時の 大院につき左の如く語る 大院につき左の如く語る 大時ので先づ階下の観念を代のため 大位であるが全球領域と変代のため た位であるが全球領域と変代のため た位であるが全球にも大めた た位であるが全球にも大めた た位であるが全部無事館外 たがでたが同域にも大め たがで表が同域にも大め たがで表が同域にも大め たがであるが全部無事館外 たがであるが全部無事館外 たがであるが全部無事館外

日九十月十年

正午からの建興

**新京特別市新設路帝都キネマ** 

差

へた映画

堂を鳥 有に歸し去

されたのはフキルム二十五、信けで目茶苦茶になり取り出情けで目茶苦茶になり取り出

る警官のサーベルばかりは凄 しさでそれでも用心して見守 しまでそれでも用心して見守

が十八日午後六時頃突如三階屋根裏より浸火値か一時間にして堂々近代実を誇る二十萬圃の同館は鳥有に聞した機氏が經營-て代表的外國映畵會社と特釣し加ふるに優秀なるウエスタンの設備と相俟つて斷然他位を壓してゐた團都療京人士の娛樂殿堂として本年四月頻京特別市筋設略に堂々デビュウした帝都キネマは橋東財界の互頭前田伊

く 空前の難踏を極めた、幸ひ ので顔梁は蝟集して黒山の如

かつたので類類を免れたの

不幸中の幸であつた

發火狀况を語る

復活」が

つた

- ロルの妙なるリズムにつれ場あり映畵はデメリカンペト

映寫機は價格一萬三千圓、ト

一時間餘り燃へ観いた帝都キ

火事場の跡

ばなしに花を咲かせて

めし

當夜

衆目を惹い

数分前の出来ごとを思ひ出し うち安藤橋代 (一八) さんは

出せ』とか」つたそうでするが、外事ですよ』と呼ばれたらその女のお客さんが二階に上つて來て見入つてあらつしゃるお客見入つてあらって悪に角私は一出てもらって悪に角私は一出てもらって悪に角私は一ました、外へ出て始めてこました、外へ出て始めて出せるが、のを見届けて外へ出るが、外へ出て始めてよりした。

まこ出も一て客にその一客で

**硷た案内ガールの五六名はま** 侵泥濘のなかにりづくまつてくに驚へながら着のみ着の

帝都\*\*\*でに設備ざれてある

秋風正に落莫

く光つてゐる、

しに花を吹かせてゐる。工事中の調をした「後の祭り」の火事した「後の祭り」の火事した。工事中の調を

俄かに焼け出されて気もお

自慢の映寫機も

波止場の天使」を

突如三階の屋

防護團

協力よくその任務を果す

三階が火事だから早く飛びらの電話で『宿都キネマのちの電話がお客さんのうちから電話がありましたそ

千人の觀客

無事避難さす

約十五

萬圓分明

領事館署で

徹宵取調べ

謝近火御見舞

新京八島通三四

話

五

八

四

六番

大

險契

約高

新

山通

寸

四番

最新日九六〇番

行

の部も開業階下階上を通じて 行は満員に近く午後六時頃夜

れも有之べくと存じ不取敢紙上を以て奉深謝候御記申上べき筈に候へ共何分にも混雑の際とてお伺ひ洩相掛け何共申譯無之深く御詑申上候就而一々拜趣親しく昨夜失火に際しては楓客諸賢に對して一方ならぬ御迷惑 存候間此の酷特に御寛恕を賜り度弦に併せてお詫申上候と存候へ共本館をしては即夜薫役會議を開催之が善後措置を講ずると共に一方極と存候へ共本館をしては即夜薫役會議を開催之が善後措置を講ずると共に一方極道て大衆的娛樂機構たる鄭館の觹失は映畫ファンの皆様に對しても多大の御迷惑

謝近火御見舞 小松製材所支店

電話三一〇四 蕃路

謝近火御見舞 長 野 紙 函 1-^──店

謝近火御見舞 - 第八一店

部路二

謝近火御見舞

石田竹二郎

謝近火御見舞

**特別科 答 一元 殿西** 院員等元行 安院

謝近火御見舞

沖 教 教 唯 荷 明 街 11011

※近六十〇五巻

謝近火御見舞 新京八島通四二 福昌公司新出張所

電話 最三大大九七兵等 を大力と大きる

謝近火御見舞

謝近火御見舞 新京八島通四六

謝近火御見舞 美富號 最高六一七六年

火御

見舞

朝鮮 軍經 理群 質狀 受領帝國發明協會有功賞受領帝國 發明協會 布牌 受領

蒙各界御指定御採用

(B 俊一が笑った。 またあとでといより 知らないわよう

がら彼女を持つてゐた。 の自動戦には、忠武な歌犬でも

其他土木建築諸材料商

料

ヤ街老松町

掘ったのは、午後になってからで に思かったのであ 被が百二十個ばかりの金を

とばかり思つてゐた。 仮がは答べずに迎った。

「僕はいつも清貨 ラブの個人から融通させませう。 「それなら契約をきめて、 友人はうれしさらに突った。 しては顕微ですから

保險代理薬

品取目扱

升肥 所 發 代 康質肥貧理

硝





組

新京支店

**資本店** 

一億圓

京量町四丁目四番四(全額拂込濟)

肛門病病

三井物產株式會社

東京市日本橋區室町二丁目一番地

二階から響が叫んだ。 「なに?」 てゐるんだし

日九十月 十年 十和昭

機なはすでなりがついかけてしお動のととろったくんだわり」 「じゃあ、あの人は…… 彼女はそれを立間先に投げすて と、原動のやうにから 伊東ね、伊東の大刀

間の一座の問題が、それにからつ ちまくるて に内容町の移動クラブに動せつ けた。彼より後駆にあたる友人が るるへいんでしまっ

された院子の手紙をひらくと、しは暗然としてるたが、やがて被 那美は那種を見送って、 さすがに強しなった。 五十八 なにか得感なものを、感にかくし い館で吹き出した。車は矢のやう 変換はよろこんで叫んだ。— てタクシーを確ふと、まつしぐら に近つて行った。 遊戯はほしそ覧んだのである。

隠用な質流れ 冬の洋服 三浦屋領店 とオーバー Ш あり

丈夫な歯を保證する

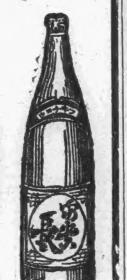
丹の煉齒

この味

評品 酒清 州 高



= T 京 番四二六五·八〇八三話電



**匣話五六一六番** 倉庫専用六二六人番(新京倉庫内) 一番 店 全海洲帝國建國式ら 清 酒 その香・色・味共に 芳醇無比! 切に副教育を言 **拉魯式裸類酒屋**樓

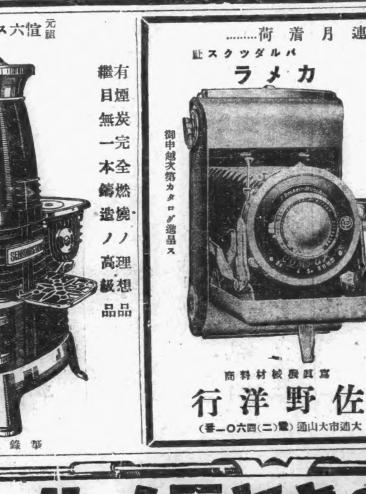
ブートス六位記 多數 入 荷 威嘆! 御 早 東五條通十三番地 大田 の 頭 上 威嘆 電話 六二二百 六六六 四三二 七〇九 店 によくきく 皆 進 錄 華 會版 滿

溯洲版画刊行會

未嚴町二丁目 東 職

圖

中釋弘光 面







製橋分科委員會は十八日午前

動的の要請には

野に一項を追加

ツ聯先鞭をつける

海艦隊

の撤退

石氏の司今に依り今秋を期して上海十八日登閥通」支那政

上海附近、産州、桃山東濱智多加の中央

五十四の五ヶ節、

十七、八十八、十三

蔣介

**石總指揮の** 

いふにある

の要求應

じ難

英大使、佛首相

武器禁輸も併せ實施

はソヴィ

エート政府が最初で

H

態度に出る可能性あるものを達せざる場合にはイ のを達せざる場合にはイ のを達せざる場合にはイ のを達せざる場合にはイ

とは軍大な意味を含

に對し海軍の共同動作に就き

ル 禁制品の中に一項目を加へタン・ 3人、ヴァナジウムモリン、ゴム、ヴァナジウムモリー 1 に對する輸出

人委員會 | 疑義を解く事となつた。

で聞し必要なな 終道及附帯事業 がける土木、海 がける土木、海

を手古摺らすことが少くな

委任され

委任されると同時に出來たも以て附屬地に於ける行政権を

のが制定されたものである。といふにあつて、右要項に基

證券團一行

一 超到に不服從はゆるで求されても異議なき

る、 倫住英國政府がフランスが明確になつた時と信ぜられ

FO.

根據地を建造中で一朝事あればイギリス海軍を撃破す

べく多數の潜水艦重

サワに難攻不落の

遠征軍を孤立に

公費の負擔に對し

絕對異議許さず

。居住者規約。を持ち出し

當局、誤解を

料を微い

分賦をなすことを収しその他必要なる

陷らしめるとの説旺んなるに對し、イタリー海軍はマ

スエズ十七日發國通)イギリスがスエズを閉鎖

爆撃機數十臺を集中イタリーは紅海の制海權を完全に掌握してゐる

日的貫徹の為

には

海封鎖も離せず

何か故に公費を負擔せなけれ ・ で疑惑をはさむ者さへあり ・ に対する
・ に対

四十二號を以て鴻鐵會社設立四十二號を以て鴻鐵會社設立れ、同年八月一日題信、大蔵れ、同年八月一日題信、大蔵の務三大臣は穏億第十四號を以て附屬地に於ける行政権を

ばならないか、政は何を根

聯盟筋の觀た英國態度

山海の制海權を<br />
掌握す

T.

伊海軍根據

建造

か突衝軍兩

却 9 日九十 桑

介更忠 〇五社 开上洋服店 召服

昨夜來京

山田城大總長

大いに有識青年 はじ、諸官艦をはじ、諸官艦を はじ、諸官艦を はじ、諸官艦を はじ、諸官艦を はじ、諸官艦を はじ、諸官艦を はいて るます、

一日午前九時赴哈する答 (他の歌迎座護會に出席、二十 考へ (居り) て居ります云々 なからお願ひしたいと したいよことを壊んであま したいと

本二十二日公主 がくて二十三日午前九時五分 が今で三十三日午前九時五分

岡田代議士歸朝

CORPER

大ヶ月間に亘る歐米漫遊観察 を終へ西伯利經由歸朝の途に は十八日午後一時五十四分着 あじあにて來京直ちにヤマト

血兒·

五

大林 梅子作

つたのは、骨下のこなっないない先別者苗ねえさんにある言 ますっそして、 | 光りの彼方に |

配けつけてきた斉苗は、則はず

本年五月に東京を出て米臓 を振り出しに駅洲に渡り 念は一般に獨立 図家として 主兩人の 高川 図の に ので 東洋の事に就ては念頭に放 の程自園の自策に多忙を極 が程自園の自策に多忙を極 が程自園の自策に多忙を極 が程自園の音策に多忙を極 がである云々 のである云々 るのでせらがどうかやめている

心のれをしせて云つたのです。

え、あたし、かくわよ

つたる

進みそう **歩へ、そろくな跳へ向きに** エ、伊の紛争遂に英、伊の紛

も辞退した。

イはふらり

して皆首の

しかし、地村としてはどこまで

部屋から川て行つ

を害すべきに為ありたるものは食計附屬地より退去を 要求せらるゝことあるも異 要求せらるゝことあるも異 要求せらるゝことあるも異

**横道附屬地内に於ては何**ことあるべし

ふる下準備

收穫が欲い 習奉行、満洲國特別演習程の蔣介山の總指揮で支那軍大演 山本博士の来京を機に滿洲標

の脚接無につま

際田は歪つてうねばれの弱い不

健康第一

清算されたかのやう 楽蜜時からゴタついた小屋、 準時變更の聲起る、 記者もこ

銀火したことは野官の働

往來

清願氏 (京都安藤商店)周垣人氏(鴻鐵社員)同 金松氏《日本航空町

井水地 突したも 未だ何ら公報がないが、 (ゼイラ十七日發國通) 日一齊に閉鎖された 「ゼイラ十七日發國通」 エズ閉鎖 のと信ぜらる ソマ ソマリー ゼイ イタリー IJ 英領ソマリ E ラ ラ 砂漠地帯より井水地帯を占領し

0

報

ンド英伊國境で

ランド とイ

タリ 領との観境線は十

の直接審議に委ねる事となっ I 國ナシブ 總攻擊中止

Cデデガナ

る、この支那始まつて以來最初の陸軍大演習穗指軍には蔣 介石氏が當り攻防兩軍司会官 には何應欽、朱培養、の兩氏 には何應欽、朱培養、の兩氏 であると云ふ大掛りな を加せしめると云ふ大掛りな に達した確實なる情報に依る

る實體と見られてゐる 前職と見られてゐる 支情勢に鑑み對日示成

八九日大和ホテル投宿、午後七時至中銀織裁小宴 ホ後七時至十分東京するが溜京中の日程は左の通り 本学学版氏、精質発有馬組員) 同一本大作氏(南級理事)十九日午前設大連へ 大淵三樹氏(同)同 本大郷三樹氏(同)同 本大郷三樹氏(同)同 本千髪都治氏(前盤單主計總 を一人、ルビンへ を一人、ルビント

表テル 本テル 本野郷計氏(吉林高等法院 推事)同 ・ホテル トホテル ・ルテル ・ルー清氏(京都帝大教授)

四)十八日午後來京名古屋 杉浦眞作以(チチハル石材 岡田忠彦氏(代議士)同 少女の眼とが飛に覆つとい語めにごつた老眼と、微く潜んだ られたやうに、ぶる 合つてるたっと、 テリイの身種は電気にで

△二十日午前八時卅分鐘 社、忠龍塔參、拜衛成病院慰 間、午前十時財政部、中銀 寒、関郡建設局、南嶺賈城 手膝蹟訪問、午後六時財政 部招宴 部招宴

間時に、動色は蛋白めて、お

んな現む

無し掛けるのであった。 できる観がこかしになれしなれる。

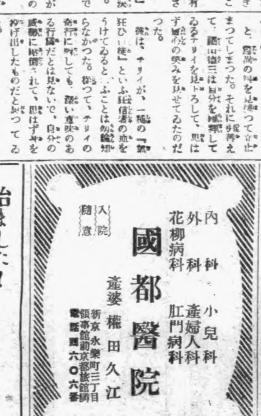
散長は。その脈に繋いてチリイ ・明んだのです。先刻から れてかつていさい 「風かさん、 あたしを屋敷へ漕

どうしたのか 様さんかけ との部職の隣に強くなつてふる との部職の隣に強くなつてふる 今日ばありは大分考へた。 青苗の立ち去つたあとで、

間



お待ち兼ねの



大興股份有限公司

の人事課宛送附スへとの人事課を選出る 1 1 1 1 申試採採待應 新込驗用用 京期期試入 資 時限日驗員遇格 部記試験及口順試問 継票者各人=連知ス 地界者各人=連知ス 獨身ノ日本女子獨身ノ日本女子 若干名 海務服 光與ス

陳土 列產

從業員募集 三最近撮影ノ小形寫眞ヲ貼付シ本公品陳列所從業員ヲ左記ニ依リ募集ス

9日女八人感觉時代 8日

最後の切札

所品

始ました! 其他季節料理 長崎チャンポン 牛すきやき 茶道具と陶器類 割 脱町 新 の設備完 浴室 酒 五十錢 三十錢 七十錢 木 電點 三一 五 六番 電話六五三二百 ホテル

軍が砂漠地帯より井水地帯を占領しに來て衝ランド國境に於る英、伊兩軍衝突に就いては 公報未 各地日人居留民會では來る廿兄童の教育問題は最も關心すべきものと云はれてゐるので 兄童教育問 合民會 會を開 なった 開き教育問題と併せて課制がに於て聯合民會議長 法撤廢に備 議長會議 題に就て

違反者に 退去も出 は 來る

七

の内容は左の通りである南浦洲鉄道附屬地居住者規約 **削滿洲鐵濱附屬地居住者規** 居住者規約 の内容

を 対 なる語規則 なる語規則

規約又は會社の諸規
が施設する警告物は
で各自之を負擔すべ
にも関する費用は課
で各自之を負擔すべ
しけて之を定むべし
が施設する警告物は
が施設する警告物は
が施設する警告物は

南城区

が其の施設で国と 東じ荷さいまでするはの 東に荷さいまでするはの かはいまでするはの かまのまできるとと を書いまでするはの かまのまできるとと

れの國人を問じず何念の合い。れの國人を問じず何念典に規約を供守し和細なるに 親に待

は、流げいむやらに朦朧量べ鴨 力ぶりを飾ら腰つて居つたものできこえてゐた。すると、チリイ と溜に続くの女に對して自分の懸さこえてゐた。すると、チリイ と溜に続くの女に對して自分はかり下を減いでゐたのでのです。あ 展着年のタイプとして自分はかり

あつたが常に海豚の無いチリイは 一切事か心の中に砂して居つたので チリイは充分よくこの老人のう る際

自魚のやうな楽しい指生をいる といつもの調子に顧田は

百

來る廿五日公會堂で

営堂で補州農學會、襲學會、

實業部鑛政科長衛

南格子納四份四○○
同二十五圓、同鼠色四卷四○
○
四二百二十五圓、同鼠色四卷四○
○
中二百二十五圓、錦紗女務物

博物同好會、冶金學

三、満洲の資源に活躍する化

學會支部、鞍山錢鑛會、鑛菜聯會、工業化學會支部、電氣

工業化學會稱州支部工業化學會稱州支部

を窃取した犯人につき目下地二反五十個計五百八十六

及び講演者は左の如く

調演題目

官消へ忍ぶ

着京濱線第六百二列車は午後十八日午後七時三十五分新京

原口忠大郎氏

受人し在庫のデレン婦人服地 を何者かが破壊して倉庫内に を何者かが破壊して倉庫内に を何者かが破壊して倉庫内に

車が脱線、復響に約一時間 十七キロ達家海驛構内で機關

# 明夜公會堂で座談會 上を迎へ 汚事務所に乗任し、昭和九年

# 界の豪斗理學博士山本一清氏 つて参會方を歡迎するに献策しつゝあるわが天文學 とゝなつた、一般同好完ら不合理でありこれは內地同 後七時から公會堂で博士を理上からまた近代生活上か 來京を好機として、二十

各學會共同主催で 新京教會 特別禮拜

として みならず京都市平安組合教會 語る ヤマトホテルに入つたが氏は どれなり 「宇宙支配者のプラッかの地間 後七時から公會堂で博士を中 腔の乗會を希望すると尚嗣夜 心に天文學の座談會を開くこ 七時より、「テサロニケ教會 一清氏 つて参會方を歡迎する 七時より、「テサロニケ教會 一清氏 つて参會方を歡迎する 七時より、「テサロニケ教會 大文學の泰斗京都帝大教授理 関東山 間ずる世界的の優者であるの いて、二十日午 として みならず京都市平安組合教會 語る ヤマトホテルに入つたが氏は どれならず京都市平安組合教會 語る ヤマトホテルに入つたが氏は どれならず京都市平安組合教會 語る でして みならず京都市平安組合教會 語る であるの により はいました。 はいまいまいまた。 はいまた。 はいまた。 はいました。 はいまた。 はいまいまた。 はいまた。 はいまたまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいまた。 はいま

建設工事にあたつて古代の石図郁建設局では從來しばしば

疊職人の悪事

本博士を迎へ

外しく 蒲洲を見ないので観察にやつて來たまでだ、一 際日淵京の後北疏を観察したいと思つて心る

材料を提供してゐるがこの度どを掘出し、考古學上貴重な 又復同治九年に鑄造されたも 市計畫に從つて財政部機を走た、建設局土地科では目下都 る吉林大路を建設中であるが 監督今井常三郎

通俗學術講演會

保では十八日鏡火後同館從業 物を流む 関連の ではないかと云はれてゐるが 自動車上の洗濯 にないかと云はれてゐるが 自動車上の洗濯 は 燃焼したことにより或に漏電 むことは困難と見られてゐる 日 は にないかと云はれてゐるが 自動車上の洗濯 は にないかと云はれてゐるが 自動車上の洗濯 は にないかと云はれてゐるが 自動車上の洗濯 がとないので原因の確證を摑 は にないかと云はれてゐるが は ではないかと云はれてゐるが は ではないかと云はれてゐるが は ではないかと云はれて居り其 習

支店では福民に準先して、防市内朝日洒滿洲與信公所新京

りふ再檢證を行ふ

與信公所 圓寄附 防空献金に

和田中將

帝國在郷軍人會副會長和田中 では、秦る二十六日午後六時 三十分から記念公會堂で、始 三十分から記念公會堂で、始 新京で講演

宮内省贈進の

皇帝御乘馬

**必る廿一日大連着** 

新京醫院庶務長 高橋氏着任 七三氏头

で家族同保正式警口から蕭任十八日午後五時三十分齎あじ 新京階院庶終長高橋儀時氏は

来る廿一日大連入港の扶桑 ほ御楽馬は一兩日大連闘東に御贈進された駿馬一頭は 先で大連に到薦の豫定、な宮内省から満洲國皇帝陛下 先で大連に到薦の豫定、な

に新京へ輸送される 軍倉庫で休養のらへ近日中

等民佐藤常蔵君(二三)は十七日神警祭の休日を利用し友 人五名と共に買物の爲め来連 同午後三時卅五分大連製で旅 順に歸る途中小崗子貨物解西 方附近で風に軍帽を飛ばされ 出身で〇〇腺動務として去る たので之れを取らんとして飛 たので之れを取らんとして飛 酸屯は喫茶店大阪屋にカデ ヘルにゐた喜美子 と類温 一見した、なる程ン在りとの趣高し と來た▲新 の表情で

新

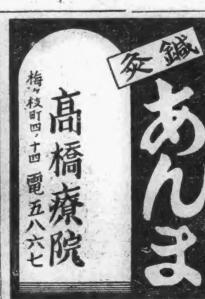
た人つたもので來

店員募集 日本内地人ニ限ル 年齢十五六歳ョリニ十歳迄 日本内地人ニ限ル 年齢十五六歳ョリニ十歳迄 1月子學經高等小學校卒築程度以上市内ニ保證人ヲ有スル者 報子自業履歴書持多アレ面護商時 株式 アサヒ高會新京支店

謝 謝近火御見舞 東亞煙草新出張、下東亞煙草新出張、下 近火御見舞

國通社宅 雄章司







分より西公園譲忠碑前にて二十日(日曜日)朝五晦五十

五六市內朝日通五十三元小川長崎縣長崎市稻澤町三丁目一 こる雨三 野は疊屋職人として他人の家婦は疊屋職人永野靜治(二六)は一般電影を入資しての場所を入資してののを新京署で探知物盗容のを新京署で探知物盗容のを新京署で探知物盗容のを新京署で探知物盗容のといいません。 五月以來主家の時計、現金、に出入するのを奇貨とし太死

就籍事務講習

下村少佐任命

一會で

七十年前の大砲

日中に正式競令のは当

は後年は東京支社医務課

吉林大路から出る

めぐり常に問題をい約六十萬は無籍並 無籍者をなくする案 れる在隣朝鮮

高女生徒の

食

道

樂

ウオーキング

スタポン うなぎ

業\*

純

内

地式

यं:

B

御來遊の程、御待して居ります、 娛樂場、サービス満点! ・ 度!

ン三都市において就籍事新講 ン三都市において就籍事所講 はれるが、これによつて就籍 関題は解決の第一歩を踏み出 したものと期待されてゐる 混乱しつ」あり朝鮮總督府においてもこれ等無籍朝鮮人の財籍を容易にするため本春以 を奨励してゐるが、朝鮮人民を奨励になるが、朝鮮人民 するため新京、奉天、ハルビ 育聯合會ではこの主旨を徹底 十八日午後八時四十分頃夫婦 が加く裝ひ吉野町四「目五 れ高級毛皮をあれこれと撰ぶ うち店員の額を鶏ひ時假三百 間の海龍の禁皮一枚を物取されたこと本人立ち去りたる後 を四戸間膜長を通じて申出た空献金として金百圓の密附方 高價な毛皮萬引

帝都キネマ

の火事

原因なほ不明

寺田柴野兩少佐 本祉を訪問

公學校長會議

お列受

**黎三九三六** 

大日本麻雀聯盟加入 名

古

東二條通三九(兒玉疊店橫入)

五日間粗品逃

墨

脳東軍第二課三班新聞係寺田 少佐は近く新穀田聯除附として榮轉、後任柴野爲亥知少佐 を來訪した

用 立教主將等 「東京國通」立教大學の名二 「東京國通」(東京國通) 「東京國通」(東京國通) 「東京國通」(東京國通) 「東京國通」(東京國通) 「東京國通」(東京國通) 「東京國通」(東京國通) 「東京國通」(東京國通) 「東京國通)(東京國通) 「東京國通) 「東京國通)(東京國通) 「東京國 「東京國

共和議は二十日午後二時祝町大和の家十九日午前七時廿分死中の家十九日午前七時廿分死中の家十九日午前七時廿分死





希望者は本社山口迄申込ぞふ
がリルで開催する。なほ入會
がリルで開催する。なほ入會 會例會

太田醫院長歸院

新京教育集會 が記念公賞堂 が記念公賞堂

ソヂスト

刻五時五十八分

二十日午後二時西本願寺

校

便

4)

今晩の主なる放送番組

商業上級生

の作品」

つどひ 日の出を拜する

△故野田梅

△第三回釣 あす二十日)

**化二時記念公會堂** 魚大會(本社後援)

氏(新京階院婦人 

1080 #

けふの銀相場

へ・三〇千供と家庭のター ・ ○〇時事解説(東京) ・ ○〇時事解説(東京) ・ ○○時事解説(東京) ・ ○○時事解説(東京) ・ ○○時事解説(東京)

野京商業學校では来る二十一 日(月)から二十五日までハルビンにおいて四、五學年生 有で商業狀態の観察をもなす たほ引率者は赤塚校長、高橋 がより、高橋 で高業計画の観察をもなす たほ引率者は赤塚校長、高橋

哈市で野外演習

第五小學校開校準備に當る第五小學校開校準備に當る

は関係でいたの回頭痛薬

命ぜられた冒十九日内報あつ 酸氏は今度總務部天津在動を 新京地方事務所渉外係長淵脇 に入時数急行で南下の予定で

天津榮轉

あらうといふ事が略々判別した、砲狀は長さ一米六十八種 (内側) 九種 (外側) 十七種で殆んど現形のまゝであ

十四名戰死

清田部隊徳惠縣で

入電、十六日午前十時頃昌圖(東天國通)三毛部歐司令都

六日午前十時頃昌圖

士官以下

本間部隊

昌岡附近で

合流匪攀破

堂氏か

幕附近の土地は一八○二年頃一未だ競見されてゐない元来國

し一八二五年(道光五年)現の地を開いて渡人の開墾を許

後任は熊能御

**帰脇係長** 

ろ右は同治九年<br />
鎌澄の大砲で

やむなく十一時預普

年四月上海事務所から新京地 一条轉となつたもので、昭和七 年間北京留學、特に支那 事情に精通せるところ今回の 事情に精通せるところ今回の 果條警務部長 たのであるから競見された大

領警署巡視

佐藤一等兵即死

カに漫走せしめた右殿 地に向け出動、同原を 地に向け出動、同原を が野後の貸員 がある。 のは個層を併せ指

の匪賊を追撃とと変職動では、馬六を掠奪して独

(100 年) 「ロハビン関語」元質40 代表の台灣小殿は元質40 西北方 版の岩淵小殿は元度40 西北方 下、六ありとの報に紅槍會距十五 、六ありとの報に接し十月十二日午前四時部落を奇襲し人

人質を奪還

月公人午後一時五十四分 日6八年後一時五十八分 日6八年後一時五十八分 日6八年後一時五十八分 日6八年後一時五十八分

のみちが包囲されるかも知れん」

トの箱から、茶僧な玉皮にいたる

至十月二十六日

間

御買上金参圓毎に

八七六五等等等等

品

以下九等マ

デ空籤一本モナ

景品券一枚呈上!

「あなたはそれでい」でせらけ

いつたら、自然の職業に、するひ

なものでし

「メメトあひときの動物つてどん

無時がある

どうしてもあなたはるらつし

かがおまへたちにも残骸はかくら

なくなつて、 ドからとあがつて

このとき、花椒那事はまちきれ

(この第今野賢二作)

おまへは、自分の今後

もから自然するつもりだ。その

節物を描述てゆから、行つたらなれはしないよ、動物を出してくれ

一度は、強けるなんて馬腕なま

君子は、こんどはたまりかれて

るのであった。

の所名をきせるんですか、あの。

あなたに記述

『血をわけた脚子で

げになってください

てください、お願ひだから、お述

をおつしゃるの、おきげになっ

人のものを、ぬすんだことになる

まつてるるのだ、中つばり、他 『たとへ親子だつて、所有脚は

能はむしろ、からなった方がい

ありませんかり

付價品澤

せんか、言はいあなたのものちゃゆづられる歌歌のうちちゃありま

和爛たる感興をとりまく舞踊 いて新京Y·M·C・Y 主催の 下に華々しく開催されたが、 下に華々しく開催されたが、

そんなにあわてることはない

と思ってゐたんだ。」

石井漠

ながら、なきくづれてしまった。

『おまへは、僕ともがつて、こ

君子は、着谷の着物をとり出し

誰

が

たか

畵

3

演

上の

「龍劇」ではある(N生)

(禁上演)

國

史 寺

瞻郎

書

すぐその足で 縁山伯野を新聞した 星野が去つてから、二時

間にかり後のことであった。 つれてやつてきたり 花村刑事は、もう二人の刑事を 戸衣に出た。 君子はさすがに顔 「御事人にお目にかくりたい。 つてゐてくれ!」 うとも、おまへを受することには 僕があかるみへ出てくるまで、 関があかるみへ出てくるまで、存かわりはないんだから、そのうち

でたつて、あなたは、ほんたう

だまつてとったといふまでのこと あやまつて法律によれるから知れ それなのに、あなたは とかぎらんよ、個人だからこそ。 は、そんな人間ぢゃありませんわ 一題人ばかりが思いことをする

「それだつて、意情、

木曾路しぐ

東海林太龍

思をかへた。あわたでしく二階へ

職あぶつていった。 あなた。刑事が栄ましたわり 10

お述げになった方がいいわ けになつた方がいいわ

おまへに必要なのは、良人の繋だの他の中に失いしちゃゐないんだ けだ。だから、質は、どこへいか 高梁社主催

急行列車

小型映畵の 今夕大時• 於公會堂會議室

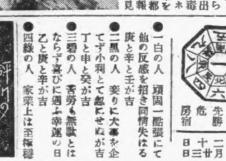
高栗社主催、國都映畵研究會 シネサービス後援「小型映畵 識は左の如く高楽社後提によ り関都映画研究會が先般地元 において開催されるが上映映 た第二日目はけふ午後一時半 た第二日目はけふ午後一時半 最終日を飾る多彩 券二国、一国) ・ 国、一国) 最終日を飾る多彩なプログラ第三日目は明夕午後七時より

復活」



醤油味噌! 悲鳴であらうこれは愚作以なのであらうこれは愚作以なのであらうか「お終ひまなのであらうか「お終ひまなのであらうか「お終ひまなのであらうか」と頼むは「一語りの進展、「急行列車」

一高田ブロー を、かつての好ましい牛原 が、かつての好ましい牛原 で、かつての好ましい牛原 で、かつての好ましい牛原 で、かつての好ましい牛原





難失物等注意

●六白の人 ●六白の人 ●大白の人 ●七赤の人 中と壬と癸 年と壬と癸 日の人 努力次第にて勝 の優勝なる吉日の優勝して成

れど咎めを免る

キュ・ダロー、ドロシー・クン、脚色はアール・ボールド

ちを免る、日

大・記を訴へなけるはせて、ファン に変悪に難して了 に次悪に難して了 に次悪に難して了

正三郎の「類大喜い「沈れ唄月の出い」「流れ唄月の出い」

電氣冷藏庫

工具

新京東二條通七人

會合社名

原田組

電三七五七番

1111 家設平場

賃備家所

六十八圓 | 六十八圓 | 六十八圓

西西山運送店

電話六五0九番

東一条橋々龍

御申込所 日登 新京親町二丁目二二

滿

抽 簽 B 昭和十一年一月十日 賣出期間 昭和十二月二十二日まで 本社频京三笠町三丁日十七番地

事所

取更所有 建苯甲一丁目八番地

千五三百 百百 本本本本

一等 

> 五拾本 Ξ 本

• 九五一二話電

が御徳で御座います!

Ξ

等

出てからは、十年の内九年は機能、大きな家では仕事は機能、大きな家では仕事を變へたが、費乏な家では仕事人災ばかり、昔は軍閥土地人災ばかり、昔は軍閥土地人災ばかり、昔は軍閥土地人災ばかり、昔は軍閥土地人災ばかり、昔は軍閥土地人災ばかり、昔の子たちは野原で死んで、村には女と子原で死んで、村には女と子原で死んで、村には女と子原で死んで、村には女と子原で死んで、村には女と子原で死んで、村には女と子原で死んで、村には女と子原で死んで、村には女と子原で死んで、村には女と子原で死んで、村には女と子原で死んで、村には女とない。 落札 一千七百八十四 二:100°00 岡 和 二:20°00 岡 和 三、20°00 田 三 20°00 田 20

章 安東江岸下濱船市 東省 四千四百四 東海 四千四百四 ◆御陶間六五七K八○○附近。 一種が兩側有孔モルタル管理 一葉六千五百國 一葉二十五百國

森系線乳株式会社

の契推御マつ学家大科兒小 うちおおこっ代に乳田

一家古犬雌 (メス 毛色白、年齢二才、身生普通 毛色白、年齢二才、身生普通

ろ

尚婦人子供服を市債の半分で引き受

●規則書送呈●

京

と パート が 手並普通セバート色、特徴役足水かき大、年齢 見者にけ瀬湖を呈す (常館町一丁目一人電話三七九二番) ト 大 本 春 本 车丈 三京高 田

下宿 向き譲り するを情報の方は 電話六六八三番 場所 城内東三馬路 場所 域内東三馬路 原田桐タンス店 新京營業所 蛇の目で 新京永樂町三丁目十八 月賦販賣力多口グ衛申込 性能は外層品に器動劣らぬ 堅牢●優美●低廉 • PM.ITD 優良國產品 シン論代理店 五八九七番

一、階下 (住居・納(店約七年、六条、四条半) 一、階上 住 宅(八、六、三条八、四条) 世界、水洗式便所、浴場、瓦斯設備テリ 世界、水洗式便所、浴場、瓦斯設備テリ 新京職業路 一二二號(新設中央市場正門) 一、階下 (住居・納(店約七年、六条、四条半) 料。

宅、

日本極

工場●

場所東一條通(室町小學簽附近)四疊半二、三疊一 電話三四四番 24 番 HIS 十八日\*\* 潮出の月唄れ流

. . 詳細 階場貸 上所 事務室付住宅

標準粉乳

133 類々たる火災、これからの季節の一 では北日本では 地震があつた、 ではとも都會では 出引寄▲現 出 十 十 初 ● 來 高 出一二日限不

風影野 パー兩替で、

中銀窓

▲洗南地方法院最根本 本港市地方法院最根本 本市工事 本語用處營

尼屋根其他修繕

=

▲上海爲替 場

落札 五千九百八十五圓 ※ 100°00 福井高梨組 4°100°00 福井高梨組 4°100°00 福井高梨組 4°100°00 福井高梨組 4°100°00 福井高梨組 4°100°00 高市 木組 4°100°00 高市 水 100°00 高市 100°00 高市 水 100°00 高市 1

採金調査隊活躍

冬季は一層能率的

(十月九日前場)

五〇 100、三〇 上 海 崎 上 海 崎

台向

ラッ

v

ユを目指し

への金流入

注目すべき放送演説

第一回買 二九弗 云云:九

十一(電六二五〇巻)

食事付の相談もします

貸間ア

田中組

神日米爲替

日本初結

日本人同樣機敏であれ

問題を急ぎつつあるが之れが 野表に先立つてフォープス氏 では十六日午後六時十五分から

大阪株式(短期) 新工工之 (短期) 新工工之 (短期) 新工工之 (短期) 新工工之 (短期)

15-10 15-10 15-14 15-15 15-1

(十月完日前場) 中大 豆 野 (混合百斤值設) 野 (混合百斤值設) 野 (混合百斤值設) 野 (混合百斤值設)

21186

二十万日限十三日服十二十二日服

の数は九酸で二百餘名に上るが酸々結氷期も迫つたので今多の調査を如何にすべきかに就て同本社の方針を問へば次の如く語る

病機經濟調査會並びに機路總 一十五日製を3本月十五日製表 九月一日現在の第二次滿洲農 一京物出廻背後地別強想速報中 主要農産物強想收穫高を摘配 すれば次の如くである

要農產物

三、收穫豫想高

滿鐵、鐵路局調查

間場

異呂ノ設備アリ 六叠三叠三叠、 大叠三叠、

声声

詳細は左記へ御問合せ下さい 一、場 所 興安大路子

電話

六〇

大三

五五

番

新築貨家

御問合せは…電話五八

一切而談

持金

. .

▲大阪綿糸 H

100-00 11111-40 申

設問場

一大大、浴場付

田

備取所貸

満鐵に六千萬圓融資

銀行團

昭和製鋼の一千萬圓も決定

を以て終る - 週間の二回だけであり、斯の如き金洗入に従ってアメリカの金保有高の滑加してゐる事はもとよりでああが、本日ワシントンに於て有高は九十五億八千四百萬弗と前週に比し一億二千百萬弗と前週に比し一億二千百萬弗と前週に比ければ質に十五元億九千四百萬弗の激増を示してゐる

十五分間『日本との貿易』トオープス氏は日本の紡績業を行った、アカープス氏は日本の紡績業をを検討し

輸出問題

▲康徽二年第三期市街水管布 設工事

天漫等金票